

# 東京邑南町 ふるさと会通信

発行日 令和3年10月10日  
 号数 第5号  
 発行 東京邑南町ふるさと会  
 発行人 半谷豊 編集人 三宅良二  
 事務局 千葉市緑区  
 高津戸町 309・44・305

## 東京邑南町ふるさと会

### 会長 半谷豊 (口羽出身)

日本選手の活躍で無観客ながら盛り上がったオリンピック・パラリンピックが開催された暑い夏が終わり、秋の佇まいになってまいりました。皆さん、お変わりはありませんか。

なかなか先の見えない世の中になりました。今年の総会は故郷から石見神楽をお呼びして、東京美郷会（邑智町と大和村が合併して美里町になりました）と合同で、盛大に開催する予定でしたが、残念ながら美郷会の皆様とも相談の上、昨今の状況から中止することとなりました。残念です。

私も自粛を心掛け昨年の三月以来、近くに買い物に出かける程度の毎日を送っています。

また、今年も大雨が降り、江川の氾濫のニュースが全国放送され、気をもんだ日を送りました。数十年に一度といわれるような大雨が、ここ数年毎年のように降って災害を起こしています。このようなニュースがあるのは、異常気象だ

けのせいでしょうか。

平成23年、椿山荘での島根県人会総会の席で、当時の桑野副町長より、「石見町、羽須美村、瑞穂町が合併したので、東京のふるさと会も一つにして欲しい」との要請から、石橋町長が上京される時に合わせて、数回の会合を重ねて、関西に先立ち発足しました「東京邑南町ふるさと会」。

平成24年11月11日に第一回の総会を開催してから、来年がちょうど十年目の節目の年になります。

本会「東京邑南町ふるさと会」は初代中村輝夫会長の意向で会費を徴収しておりませんので、邑南町からの助成金5万円だけが頼りの状況です。総会参加者数は年々減って二十名程度になってきましたが、現在も約五百名の方に案内を発送しております。返信用の封筒を入れますと郵送料にも満たない金額です。数年前から赤字が続いておりますが、今までは会長がその分を負担しております。

そこで皆様に、お願いがあります。いつの日か次に会長を引き受けて頂く方の負担に

ならないようにも、年会費を徴収することとさせて頂きます。

どうぞご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

若い世代のワクチン接種が進み、感染者も減ってきました。もう少しの辛抱と思いません。マスクをしなくてもいい、従来の生活に戻ることができ

るでしょう。来年は、本会の節目の十周年記念の総会が開催されるでしょう。久しぶりに皆様とお会いできるのを楽しみにしております。どうぞ気を付けてお過ごしください。

「東京邑南町ふるさと会通信」  
会報5号よせて

邑南町長 石橋 良治

虫の音が響き渡り、爽やかな秋風が感じられる季節となりました。会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。邑南町長の石橋でございます。邑南町がスタートした平成16年から町長に就任させていただき、昨年、町民の皆様をはじめ各方面の方々から力強いご支援と心温ま



るご厚情を賜り、引き続き邑南町政5期目の重責を担わせていただくこととなりました。重ねて厚くお礼申し上げます。邑南町ふるさと会通信第5号発行に寄せて、ひとことご挨拶を申し上げます。

全国的には新型コロナウイルスが猛威をふるい、町内でも感染が確認されるなど依然として油断できない状況にあります。邑南町では、5月10日に65歳以上への集団接種がスタートし、それに続いて7月中旬から64歳以下の接種を行ってまいり、その集団接種も8月14日で無事終了しました。しかし、町内でも多くの行事・イベントが中止となり、町出身の皆さまはお盆の帰省すらままならないなど、人と人とのつながる機会が奪われており、早くこれまでどおりの日常が戻ることを祈るばかりです。

さて、邑南町におきましては、平成23年度に策定した「日本の子育て村構想」が10年を経過し、これまでの取り組みにより将来人口推計の改善が見られます

が、令和2年度国勢調査は速報値で人口が10,166人と依然として人口減少に歯止めはかかっている状況です。

令和3年度は『誰ひとり取り残さない、人とつながり支えあう町づくり』をテーマとして、一人も取り残さない人とのつながりを誰もが実感できる町づくりを進めていきます。

邑南町では、令和2年度から「地区別戦略発展事業」として、世代交代を織り込んだ20年後の地域につながることを主要テーマに、各地区の住民が主体となって地域づくりに取り組んでおられます。また、羽須美地域では令和2年度から令和6年度までの5年間、島根県の「小さな拠点づくり」モデル地区推進事業の採択を受け、高齢者の移動や買い物などの仕組みづくりなど、持続可能な仕組みづくりに取り組んでいます。

大型の建設事業については、石見中学校改築工事は6月に基本設計が完了し、その後、実施設計を行い、令和4年度に建設工事へと進んでまいります。道の駅瑞穂

再整備事業はプロポーザルにより委託業者が決まり、基本設計を進めております。また、公立邑智病院(98床)の本館棟建替も来年度からいよいよ始まります。住民の皆さまにとって快適で利用しやすい施設となるよう引き続き事業を推進してまいります。

ふるさと邑南町はこれからも「持続可能なまち」として元気で有り続けられるよう頑張りますので、引き続き皆様ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。会報発行に寄せてのご挨拶とさせていただきます。

\*\*\* \*\*

久喜銀山遺跡について

邑南町副町長 日高輝和

(邑南町岩屋在住)

東京邑南町ふるさと会の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。町長の代理としてふるさと会に参加させていただきました際には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

コロナ禍にあつて交流の機会も少なくなっていますが、治療薬の開発など明るい話題も出ております。皆様にはどう

かご自愛のほどお祈り申し上げます。

さて、令和3年6月、国の文化審議会は、邑南町の「久喜銀山遺跡」を国の史跡とするよう文部

科学大臣に対して答申しました。正式決定は秋頃となる見通しですが、町としては初の国史跡指定となります。

地元住民としても大変嬉しく思っております。今回機会をいただきましたので、教育委員会の資料から久喜銀山について紹介させていただきます。

遺跡の概要

○所在地：邑南町久喜

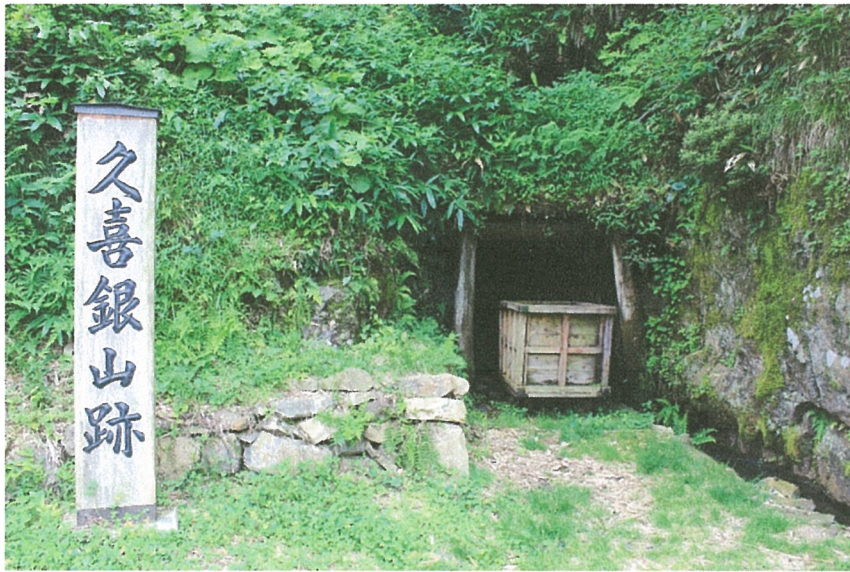
○指定範囲面積：約45万

m<sup>2</sup>

○操業年代：戦国時代後期(十六世紀後半)～江戸時代(十七世紀後半)、明

治時代後期(二十世紀初頭)久喜銀山遺跡は、銀を含んだ鉛鉱石を産出した遺跡です。現在、このような銀鉛鉱山では、採掘から製錬までを示す遺構等の調査例はありません。また様々な調査により、久喜銀山は戦国時代後期から、明治時代まで操業されて





いたことが分かっており、中世から採掘から製錬までの日本の銀生産技術を示す優れた遺跡と評価されています。久喜銀山の特徴として、「銀山」の名前を冠していますが、鉛も産出する「銀鉛山」という点にあります。

戦国時代には、毛利氏によって支配され、産出した銀の一部が豊臣秀吉に上納され

たことが分かっています。このほか、鉄砲の普及に伴って、毛利氏の中でも、鉄砲を使用する部隊が編成されるようになる、弾丸の素材である鉛の需要も高まり、久喜銀山は経済と軍事の両面で毛利氏を支えていたことがうかがえます。

また、石見銀山との関係も深いと考えられています。石

見銀山における銀製錬は「合せ吹」という、鉛を使う方法で、銀1トンを生産するのに、7トン程度の鉛が必要とされます。

実際に、「鉛同位体組成分析」という手法で、鉛の産地を分析すると、十六世紀後半から十七世紀初頭に石見銀山において、久喜銀山の鉛が使用されていたことが分かりました。

石見銀山近隣の鉛山からも、鉛を調達していたようですが、久喜銀山の生産する鉛はおおよそ百トンと推定され、石見銀山の銀生産にとつて、大きな存在となつ

ていたようです。

指定に至るまでの経緯

喜銀山は、地域住民の方々には、古くからその存在を知られていましたが、昭和63年に旧瑞穂町教育委員会が実施した遺跡詳細分布調査によつて久喜銀山遺跡の様相が明らかになりました。その後、大田市の石見銀山の世界遺産登録を目指す動きの中で、同じ江戸幕府直轄の銀山遺跡として注目されました。平成十九年に地元有志によつて「久喜・大林銀山遺跡保全委員会」が結成され、現在まで遺跡の保存及び活用に注力されました。

邑南町教育委員会としては、平成22年から本格調査を開始。様々な調査を進めながら、令和2年1月に文部科学大臣に対して、国史跡指定を求め「意見具申書」を提出し、今回の答申に至りました。

今後

秋の官報告示をもって正式に国史跡に指定されます。今後は、講演会の

開催や現地説明会等を通して久喜銀山遺跡の周知と普及啓発に取り組んでまいります。

久喜銀山遺跡周辺では、製錬過程で生じる不純物の膨大な塊が堆積した「カラミ原」と呼ばれる場所や、鉱石を熱した「炉」といった銀製錬に関連する遺構を見ることができません。ぜひ一度お立ち寄り下さい。

\*\*\*\*\*

「東京邑南町ふるさと会」の皆様へ

邑南町議会議長

石橋純二

邑南町議会議長の石橋純二と申します。今夏は例年にも増して酷暑の上、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい緊急事態宣言が何度か発令され、首都圏にお住いの皆様方には何かとご不自由な日々をお過ごしのことと推察いたします。

邑南町でも感染例が報告され、飲食、宿泊業が大きな痛手を被っています。加えて異常気象が叫ばれる中で邑南町もお盆前後に大雨に見舞われました。幸い大きな被害は

出ませんでした。日頃から最悪の事態を想定した避難計画の重要性を痛感したところです。



さて、1年延期された東京オリンピック大会も終わり、パラリンピックも無事開催されました。邑南町では4年前からフィンランドのゴールボールチームのホストタウンとして交流事業を行ってきました。福祉の先進国に学び、障がいのあるなしにかかわらず共に学び合おうということでゴールボールの普及に努めてまいりました。5月にはフィンランドチームと全日本の選抜チームで練習試合を計画していましたがコロナウイルス蔓延のためやむなく中止となりました。残念ながらフィンランドチームは地区大会で敗戦となり出場できませんでしたが、全日本チームの優勝を祈願し、応援するためにため書きを送りました。ふるさと会の皆様にも応援をお願いいたします。ゴールボールだけでなく町内の中、高校生を派遣し、フィンランドの高校生との交流を図ってきました。

地方では人口減少に歯止めがかかりませんが邑南町では日本一の子育て村構想とA級グルメ構想の二本立て政策で町づくりを行っています。おかげさまで一時は社会動態がプラスに転じ、若い子育て世代の女性が増加したところです。また本町の農家の皆さんが自信をもって農業に取り組んでいただけの施策を展開中です。地元で採れたものを都会から食べに来て頂くというものです。現在はコロナ感染症のため思うようにはいきませんが町内で飲食業関係は64件となっています。都会の皆さんにも感染症閉塞後はきつと喜んでいただけるものと思います。今、邑南町では将来のために多くの事業を計画しています。石見中学校の改築事業、公立邑智病院の建て替え事業、道の駅みずほの建て替え工事など多くの事業が計画されています。



昭和間歩



昭和間歩前にある送風機械

また矢上高校の振興にも力を入れており、中国地方はもとより関西、首都圏からも高校生を受けれています。邑南町もこれらの事業を通じてまちづくりを行っています。ふるさと会の皆様にも様々な面でご協力賜りますようお願いいたします。

最後に私の自己紹介をさせていただきます。瑞穂地域高原地区住んでいます。東京で学生生活を送り神奈川県

塚市と相模原市で勤めていました。昭和53年に帰省しました。この度の会長様からのご案内で大変うれしく思いました。会員の皆様方にお会いできることを楽しみにしております。  
**遂に邑南町初の国史跡の誕生へ！「邑南町の城跡」**  
 サイト管理人  
 令和3年6月、国の文化審議会が久喜銀山遺跡（旧瑞穂町久喜）を国史跡に指定するよう文化科学大臣に



答申しました。決定すれば邑南町初の国史跡となります。そう、意外にも今までありませんでした。この町にかつて、そんな巨大鉱山が存在した……この「久喜銀山」がよく知られるようになったのは、平成19年に大田市・石見銀山が世界遺産になった時からのようで、以降地元の方により地道に整備されてきています。

その歴史は古く、銀鉱脈の発見は建久年間（1860年頃）といわれ、鎌倉時代から戦国時代にかけて、特に毛利氏によって本格的に採掘が行われました。現在も残る巨大な「大横谷間歩」は元亀元年（1570）に発見された大鉱脈で、以来銀山の中心となります。江戸時代となると石見銀山とともに天領（徳川幕府の直轄領）となり、明治時代

には「鉱山王」の異名を持つ津和野・掘家が大々的に経営しました。最盛期となる明治36年から40年にかけて、鉱員は二千人を超えたといえます。今でも「床屋千軒」などの地名を残し、古書には「たばこや」「かみゆい」などの屋号もあり、また寺も多く存在し、まさに巨大鉱山都市だったのです。たとえば井原の満行寺は、元は銀山地

にありました。久喜銀山の紹介には必ずといってよいほど使用される間歩写真「水抜き間歩」と言い、大横谷間歩での出水がひどいために明治30年に掘られた水抜き専用間歩です。現在でも勢いよく流れ出るのは鉱泉で、沸かせば立派な温泉になると地元の方から聞きました。大横谷間歩などで採掘された鉱石は、すぐ近くの精錬所に



水抜き間歩



カラミ原



大横谷間歩



て含銀鉛にされました。今でも窯や炉の跡が明確に残り見学ができます。中でも、精錬時に出土した鉱滓(くず)を捨てた場所を「カラム原」といい、現在でも草木が生えぬ、いわば明治時代の産業廃棄物処理現場として見るのができ、その規模に圧倒されます。おそらく、公害もあつたことでしょう。

含銀鉛の生産高は明治38年で約210トン、明治39年で約255トンで、久喜から馬車で川本に運ばれ、江の川を下って浜田港から大阪へ運ばれました。そんな久喜銀山も、明治40年には坑道の水没により産出量が激減し、翌年には赤字へ転落、やむなく閉山となりました。ところが、第二次大戦後の昭和26年に「久喜鉱業所」によって再開発が行われましたが、金属価格の暴落により昭和30年に中止となりました。その時の巨大採掘跡が岩屋の「昭和間歩」で、その時使用された送風機械が現在でも残っています。以上、鉱山の歴史を大雑把に説明致しましたが、邑南町が誇るこの鉱山跡には、間歩など採

掘跡が千箇所を超え、久喜、大林、岩屋地区の広範囲に存在し、現在も調査中であり、観光資源として地元の方の熱意によって整備管理されています。前もって連絡をすればガイドもしてもらえますので、皆様帰省の折には、ぜひ立ち寄ってみていただければと思います。\* \* \* \* \*

#### 年会費のお願い

本年度より年会費をお願いすることになりました。ご理解の上ご協力くださいますようお願いいたします。一口千円として何口でもお納め頂くことができます。同封のゆうちょ銀行払込取扱票にて、お納め頂ければ幸いです。ゆうちょ銀行の口座からの振込の場合は手数料が割安です。本年度の会費をお納め下さいますようお願いいたします。

会費一口千円 何口でも

口座番号〇〇一四〇一三七六六五六四

他の金融機関からの振込の場合  
合 ゆうちょ銀行 口座番号

〇一九(ゼロイチキユウ)店

当座 〇七六六五六四

口座名 東京邑南町ふるさと会

## 編集後記

数年前にインターネットに邑南町の歴史が詳しく掲載されているサイトを発見し時々見てました。先日、先輩方とお話した時に、「集落の名前はなんだつたかいなあ」「どんなところですか」「断魚の奥の、今は誰も住んでなからうが。「ちよつと待つちやんさいよ。調べてみましょう」「あかあ、井原かいな」「いや中野かもしれんで」「ありました。中野なら牛ノ市・八幡・弓張」「あつ、はちまん、八幡だ」「八幡から通つとつた同級生がおつたで」。城のことや廃村になった集落や、お寺について等々、忘れられた、故郷邑南町の歴史がたくさんあります。一度見てみてください。今回、思い切ってメールで連絡して寄稿をお願いしましたところ快く引き受けて頂きました。石橋町長、日高副町長、石橋純二議長にも快く寄稿頂きありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

コロナ禍終息には、まだあと数年かかりそうです。

いつまでも自粛しては、貴重な限られた人生、時間も

つたいないように思います。悔いの無い人生を送るために、本会も発足して来年度で節目の十年目。「一回行つときやあえかつたのお」と、ならないように、総会開催の折には、ぜひともご参加ください。

私事ですが、NHKFMラジオ「民謡をたずねて」に出演します。11月25日、12月2日、12月9日金曜日17時30分からの放送予定です。3年前にソニームニュージックとの専属契約とCD発売を機に思い切つて30年務めた会社をやめ、これからという時にこのコロナで・・・今年4月には民謡の法人「NPO法人民謡民舞公演実行委員会」を立上げ活動し始めました。応援してください。

まだ、帰省できる状況ではないですが、帰ったら「久喜銀山遺跡」にも行かないと。銀山に鉄穴流し、たたら鉄。昔の邑南町はどんな所だったんでしようか。

充分注意しましたが誤字、脱字がありましたらお許し下さい。ワクチン接種が進み、もう少しの辛抱と思います。どうぞご自愛ください。

矢上出身 三宅良二